

主要施策名:(3)スポーツ活動の充実

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(3)スポーツ活動の充実	(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-1	市民スポーツ振興事業	スポーツ振興課
		(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成	232-1	体育団体運営支援事業	スポーツ振興課
		(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-2	競技スポーツ大会補助事業	スポーツ振興課
			231-3	国際スポーツ大会キャンプ誘致等推進事業	スポーツ振興課
			231-4	フルマラソン大会運営事業	スポーツ振興課
			(3)体育施設の整備充実と利用促進	233-1	体育施設管理運営事業
		233-2		玉名市サッカー場建設事業	スポーツ振興課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市民スポーツ大会委託事業	各種目団体へ社会体育活動の推進を委託し、大会を開催する。	実施大会数	大会	7	7	7	7
② 支館対抗駅伝大会	各支館へスポーツ振興活動の推進を委託し、大会を開催する。	実施大会数	大会	1	1	1	1
③ 荒玉地区スポレクフェア事業	各支館へ地区球技大会等の実施を委託し、スポーツ振興に寄与する。	大会等実施数	大会	32	39	40	40

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(市民スポーツ大会参加者数)	1616	1538	1566	1600	1600	1600	1600
投入コスト合計(千円)	4,701	4,365	2,330	4,196	4,196	4,196	4,196	
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	3	1	3	3	3	3	
コスト評価(対前年比)	***	102.50%	(↑)	190.75%	(↑)	56.73%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 市民スポーツ大会参加者数(全市民対象事業)	市民スポーツ大会、スポレクフェア及び支館対抗駅伝の合計参加者数	人	1500	1500	1500	1600
2			1616	1538	1566	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由()	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	スポーツ活動の推進のために、玉名市体育協会加盟の種目団体又は玉名市スポーツ推進委員協議会と協力し、大会参加人数の増加や参加しやすい環境づくり等を協議し、大会種目の変更や周知方法の変更等を行いながら改善していく必要がある。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現状のまま継続していく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	スポーツ活動を推進するための委託事業を中心とするものであるが、玉名市体育協会及びスポーツ推進委員の協力により実現できている事業である。健康増進の観点からもスポーツがより身近なものに感じられ生涯スポーツに取り組めるような環境を作る事が必要である。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名市体育協会補助金事業	体育協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	加入団体数	団体	30	30	33	33
② スポーツ推進委員協議会等運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	地域スポーツ活動事業数	本	13	13	13	13
③ 熊本県体育協会スポーツ振興事業	県体育協会への負担金を納め、活動支援を行う。	事業数	本	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(県民体育祭出場者数)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画	
		0	397	365	400				
		14,238	15,828	21,848	26,982				
		0	40	60	67				
		***	0.00%	(-)	66.61%	(↓)	88.74%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	5	5	5	5
			中止	4	8	
2 県民体育祭出場者数	出場選手及び役員数	人	400	350	400	350
			中止	397	365	

* 成果未達成時の理由 県民体育祭において、陸上や水泳、クレー射撃等すべてに出場しない種目があったため参加者数は減少していた。また、順位についても組み合わせの悪い種目については良い成績ではなかったため昨年を下回った。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 [23]		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由() [24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	玉名市体育協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、種目団体による競技力向上並びに地域住民のスポーツ振興及び健康増進の推進はもとより、生涯スポーツの普及推進及び地域間融和を図る上で重要な役割と責任を持つ団体であることから、今後も現状のまま継続する。なお、小学校部活動の社会体育移行については、既存のクラブチーム又は総合型地域スポーツクラブ等への移行している。今後は指導者育成等をクラブで行う必要がある。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現状のまま継続する。ただし、総合型地域スポーツクラブ関連事業については、民間主体へ移行を進める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見 [27]	体育団体運営支援事業においては、各スポーツ団体の融和や各種目スポーツの競技力の向上、社会体育指導者の育成を図るためのスポーツ団体組織への支援と組織力の強化であるため、今後のスポーツ振興に欠かせない事業と考えられることから現状のまま継続していく事業と考える。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 全国大会出場激励金交付事業	全国大会以上の大会に出場する市民に対して激励金を交付する。	激励金交付者数	人	114	96	121	200
② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	1	1
③ くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算					
	対象(スポーツ大会参加者数)	1170	1166	1185	1200	投入コスト合計(千円)	18,975	12,420	16,223	17,291		
対象1単位あたりのコスト(千円)	16	11	14	14	コスト評価(対前年比)	***	152.26%	(↑)	77.81%	(↓)	95.01%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 競技スポーツ大会参加者数	参加者数(玉名ハーフ、レスリング、駅伝)	人	970	970	1000	1200
2			1170	1166	1185	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(補助事業のため) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	昨年度70回を迎えた本金栗四三氏を冠としたハーフマラソン大会や金栗駅伝大会は、大河ドラマによりますます注目を集めることが予想され、競技者の能力向上等に貢献しなければならぬため、継続して実施していく必要がある。 全九州高等学校レスリング大会は本市で国体や高校総体が開催されており、レスリングのまちづくりとしてイメージ構築がなされているため継続する。 全国大会等出場激励金については、市民や市議会議員より出場者に対して玉名市民に誇れる制度への見直しの要望があり、支給額の増額や全体予算額の増額、または対象者の拡充など、さらに検討を続ける必要がある。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	事業については、現状のまま継続する。 マラソン、駅伝大会では、出場者記録の更新等内容を充実させ市民の関心を高め、沿道の応援や競技人口の増加を促進し市の活性化に貢献する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	ハーフマラソン大会や金栗駅伝大会、全九州高等学校レスリング大会においては、競技力の向上、市民へのスポーツに対するの関心をもってもらうために必要な大会であり継続すべき事業と考える。全国大会等出場激励金については、支給額の増額や全体予算額の増額、または対象者の拡充など、さらに検討を続ける必要がある。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 国際スポーツ大会キャンプ誘致等推進事業	情報発信、講演会や教室	実施数	回	1	1	3	1
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(情報発信、講演会や教室実施数)	1	1	3	1
投入コスト合計(千円)	4,207	3,972	9,855	11,169	
対象1単位あたりのコスト(千円)	4,207	3,972	3,285	11,169	
コスト評価(対前年比)	***	105.92%	(↑)	120.91%	(↑)
				29.41%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 国際スポーツ大会等キャンプ誘致数	キャンプ誘致数	件	0	0	1	1
2 国際スポーツ大会に係る講演会等の開催数	実施回数 (車椅子バスケット、トップアスリート講演会及び演技)	回	1	1	1	1
			1	1	3	

* 成果未達成時の理由 誘致国及び種目等に変更があり、再度計画を行っている。令和元年度アンゴラ共和国を誘致予定。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(誘致事業のため) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	前年度から引き続き継続している「あすチャレスクール事業」を平成30年度も小学校を対象として実施した。また、キャンプ誘致については、平成30年度中に実施することができなかったが、新たにアンゴラ共和国と協議を行っており、令和元年度からオリンピック期管を含めキャンプ誘致に向け調整を行っている。		
今後の方向性 [26]	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	アンゴラ共和国女子ハンドボールチームのキャンプ誘致に向けて、各団体や大使館等と協議を重ねる。誘致費用については今後アンゴラ共和国と協議を行う。		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) アンゴラ共和国キャンプ誘致事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	アンゴラ共和国女子ハンドボールチームのキャンプ誘致に向けて、各団体や在日アンゴラ大使館等との接触も行う誘致に向けて前進している。誘致費用等については今後アンゴラ共和国との協議を重ね決定していくこととなる。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① フルマラソン大会運営業務	補助金を大会実行委員会に交付し、フルマラソン大会開催の支援を行う。	実行委員会等開催回数	回	***	***	***	1
② フルマラソン大会開催検討業務	検討会議を開催する。	開催回数	回	***	***	2	***
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(大会参加者数(全体))	0	0	0	2000
投入コスト合計(千円)	0	0	3,243	29,416	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	15	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	
1 大会参加者数(全体)	延べ参加者数	人	***	***	***	2000
2 大会参加者数(市外)	延べ参加者数(市外)	人	***	***	***	1000
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	b
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性 【24】	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	b
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性 【24】	<input checked="" type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性 【24】	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	b
	<input type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	H30新規事業のためなし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成31年度(令和元年度)からの新規事業(フルマラソン)となるため、既存のいちごマラソン大会と併せて現状のまま継続とする。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	事業開始がH30年9月からであり、令和2年2月23日に向けコースの選定等の検討会議が主たる業務であった。今後コース設定後に、人員配置計画や、参加者の駐車場からの輸送計画を作成する必要がある。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 蛇ヶ谷公園テニスコート指定管理事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数	人	118103	159076	185678	160000
② 蛇ヶ谷公園テニスコート管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数	人	177675	173928	218413	170000
③ 桃田運動公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数	人	28884	30907	30104	29000

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算			
	対象(利用者数)	384023	436225	506208	450000		
	投入コスト合計(千円)	98,525	433,404	136,405	157,267		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	1	0	0		
コスト評価(対前年比)	***	25.82%	(↓)	368.71%	(↑)	77.10%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 体育施設等総利用者数	市スポーツ施設を利用した総人数	人	300000	250000	300000	450000
			384023	436225	506208	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	総合体育館空調を使用することで室内温度を抑制することができており、大会開催時に好評であった。岱明B&G海洋センターでは、全面リニューアルのため定期利用者から好評であり、新規利用者獲得にもつながっている。2社の指定管理者は2年目ということもあり、昨年度に比べサービス面では向上していた。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成31年度(令和元年度)に蛇ヶ谷公園及び武道館の指定管理が新たに5年間で開始される。また令和2年度からは勤労者体育センター弓道場について3年間の指定管理が開始。さらに令和4年度から桃田運動公園及び岱明他7施設の5年間更新となり、今後も施設の運営等については各管理者と協議を重ねよりよいサービスが提供できるよう努める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	総合体育館メインアリーナに空調を導入したことに伴い、利用状況は良くなっているが、プールの老朽化に伴う修繕等に立ち会う等指定管理者の当課に対する依存も見えて取れる。完全な業務の移管を目指す必要がある。	評価責任者 木村 隆宏
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① サッカー場建設検討事業	サッカー場建設にあたって会議を開催する。	会議回数	回	2	0	0	0
② サッカー場建設事業							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(会議回数)	2	0	0	0
投入コスト合計(千円)	2,074	0	590	590	
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,037	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 サッカー場建設の進捗率	建設工事進捗率	%	0	0	0	0
2			0	0	0	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	c
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	c
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	c
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	c
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	成果指標を設定している	c
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	市が提案した伊倉中北地区にサッカー専用グラウンド2面を整備する計画案には、議会公共施設等建設特別委員会の意見より見直し意見があり、財源を含め課題の整理を行った。また、サッカー場建設に併せて400メートルトラックの整備の必要性を検討した上での多目的競技場建設も視野に入れるため、再度検討を開始する必要があるが現在のところ会議予定はない。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	建設規模及び候補地選定など内容が多岐にわたるため慎重な協議が必要となる。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	県下でサッカー場が唯一ないことから必要性を感じるものの、議会公共施設等建設特別委員会の意見より見直しを行い、財源を含め課題の整理を行った。併せて400メートルトラックの整備の必要性を検討した上での多目的競技場建設も視野に入れ、再度検討を開始する必要があるが、オリンピックキャンプ誘致、フルマラソンの開催等直近の重要事業を優先させており、優先事業が終了後再度検討	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------